



#### 【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・豊後高田市、杵築市、国東市、日出町、宇佐市においてアライグマの生息実態調査を行うとともに、アライグマ防除実施計画を策定していない市町村に対して策定に向けて取り組むよう働きかけた。これにより、13市町でアライグマ防除実施計画が確認済みとなり、市町村主体による防除体制の整備が図られた。
②	・県下665地区において地域ぐるみの保全活動を行い、農村環境の保全、集落機能の維持等に貢献した。また、県下3離島において漁場や漁業資源の適切な保全管理を行い、漁業の持続的発展、健全な漁村環境の保全、集落機能の維持等に貢献した。
③	・温泉法に基づく掘削や動力装置の許可について、適正に処分を行った(件数:掘削・増掘許可74件、動力装置許可30件)。また、申請が増加している地熱発電に係る掘削について、新たに審議基準を定めたほか、26年7月1日に温泉の禁忌症・入浴又は飲用上の注意事項が改定されたことに併せて、温泉法に基づく掲示内容の変更等について周知を図った。
④	・日本ジオパークに認定された姫島村・豊後大野市のジオパーク活動が持続可能なものとなるよう、研究者等の誘致活動やジオパークの情報発信、両ジオパークの取組に対する助成を行った。これにより、本県のジオパークの認知度が高まるとともに、ジオガイドの養成を初めとする受入体制の整備が促進された。

#### 【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(26年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	27年度の方向性	
①	おおいた生物多様性保全・普及啓発事業	26,400	A	継続・見直し	63
②	農業農村多面的機能支払事業	294,550	A	継続・見直し	127
	(公)港湾環境整備事業	118,404	C	継続・見直し	170
	都市政策推進費	25,909	A	継続・見直し	171
③	県営都市公園施設整備事業	109,447	A	継続・見直し	172
	県営都市公園里山利活用推進事業	4,285	C	継続・見直し	173
④	おおいたジオパーク推進事業	38,004	A	継続・見直し	64

#### 【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○「安心・活力・発展プラン2005」第1回安心部会(H26.7)</p> <p>・県民アンケートでも、「暮らしやすさの重要項目」として、「海・山などの豊かな自然環境」がトップとなっている。豊後大野、姫島がジオパークに認定されたが、もっと自然環境を大切にしていきたいことが求められているのではないかと。</p> <p>・生物多様性戦略は、豊後大野市のみ策定予定で、その他の市町村では策定が予定されていない。県の意気込みが市町村に伝わっていないのではないかと。</p>	<p>○「安心・活力・発展プラン2005」第4回安心部会(H27.1)</p> <p>・環境政策を進めるにあたっては、温泉をはじめとした資源保護という視点を基盤に置いてほしい。</p> <p>・希少野生動植物等の保護に加えて、それらが生息・生育する場所や生態系の保護という視点を一言入れておいてほしい。</p>
---	---

#### 【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然保護団体等と協働して、希少な野生動植物の保護や、特定外来生物の駆除等、生物多様性を保全する活動を実施する。</li> <li>・生物多様性の重要性について、県民の理解を促進するため、県民参加型のいきもの調査「いきものウォッチング」を開催する。</li> <li>・温泉資源の保護と適正利用を推進するため、定期的な泉源の調査を実施する。</li> <li>・姫島村と豊後大野市のジオパーク活動を持続可能なものとするため、学術基盤の強化や、両地域が行う受入体制の整備に対する支援を行う。</li> <li>・学術研究者や地質愛好家等を対象に、間断なくジオパークの魅力情報を発信する。</li> </ul>